



三井海洋開発株式会社
第32回 定時株主総会

2018年3月23日



事業の概況

中期経営計画2017振り返り

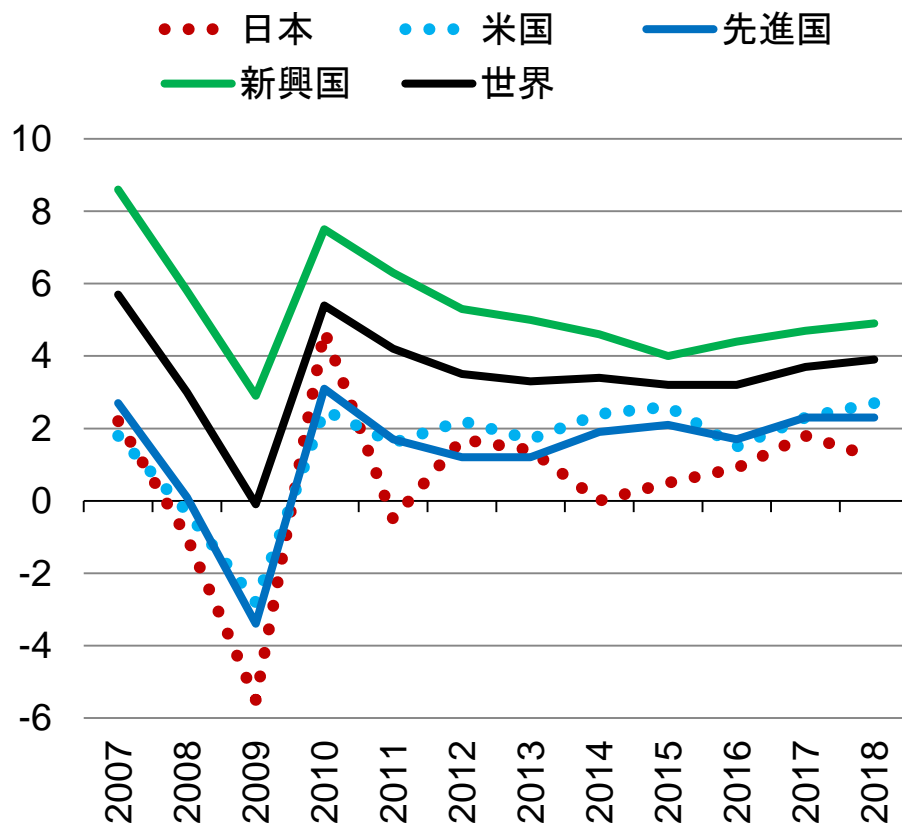
中期経営計画2020の展望



2017年12月期：経済動向、原油価格

- 景気は回復基調が継続
- 原油価格(WTI)は60ドル台まで回復

世界 実質GDP(前年比、%)および見通し



原油価格 (WTI)



2017年12月期：新規受注案件



- 2件の大型FPSOチャーター案件を受注
- ブラジルにおける浮体式設備としては13基、14基目の受注。プレソルト向けとしては6、7基目のFPSO*

*当社グループが保有するプレソルト向けFPSO

- FPSO Cidade de Angra dos Reis MV22
- FPSO Cidade de São Paulo MV23
- FPSO Cidade de Mangaratiba MV24
- FPSO Cidade de Itaguaí MV26
- FPSO Cidade de Caraguatatuba MV27

FPSO Carioca MV30

客先	Petrobras
契約形態	EPCI+Time Charter (21年間)
鉱区	Sépiaフィールド (ブラジル)
水深	2,200m
原油生産能力	180,000 bpd,
ガス生産能力	212 mmscfd
貯油能力	1,400,000 bbls

FPSO Guanabara MV31

客先	Petrobras
契約形態	EPCI+Time Charter (22年間)
鉱区	Meroフィールド (ブラジル)
水深	2,100m
原油生産能力	180,000 bpd,
ガス生産能力	424 mmscfd
貯油能力	1,400,000 bbls

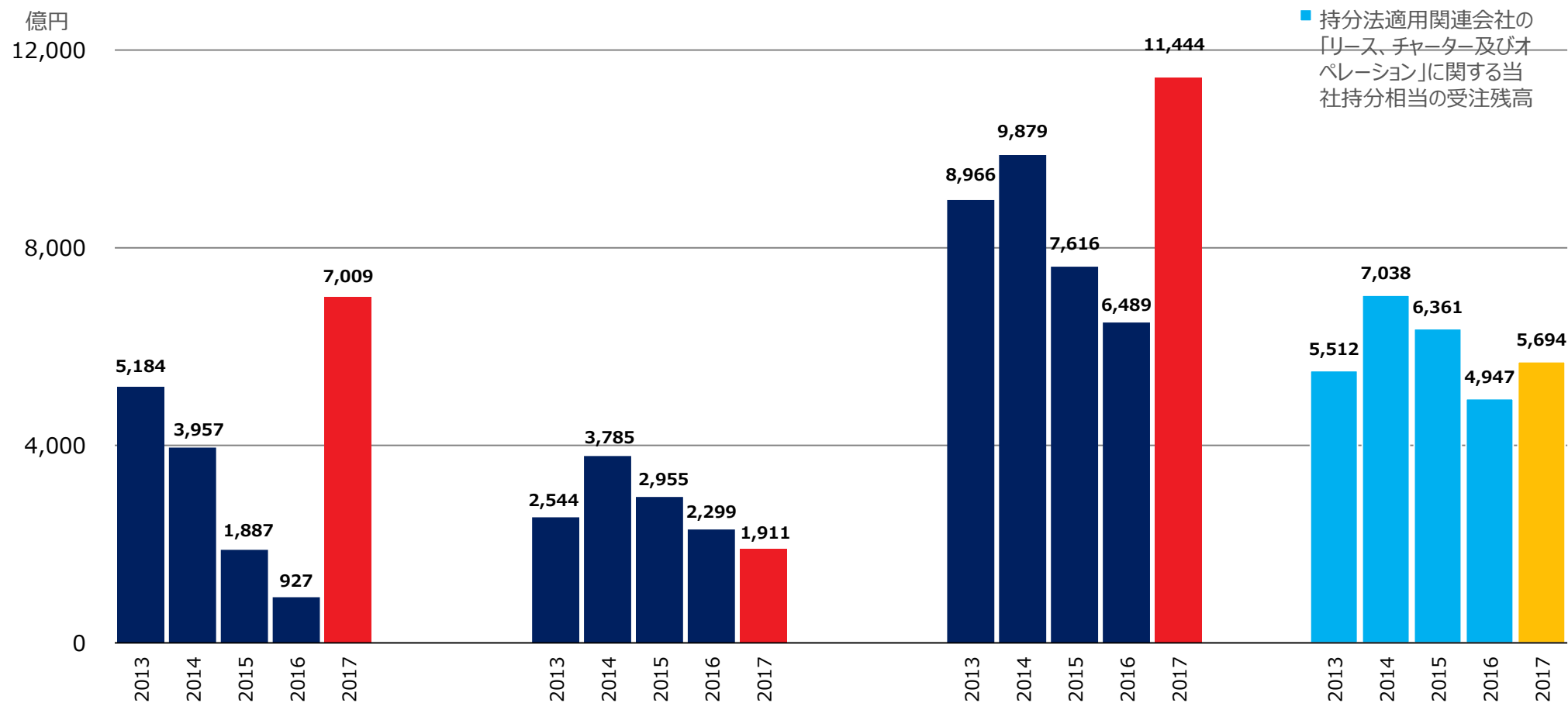
2017年12月期：受注高・売上高・受注残高

● 受注高は7,009億円(前年比656.1%増)、売上高は1,911億円(前年比16.9%減)

受注高

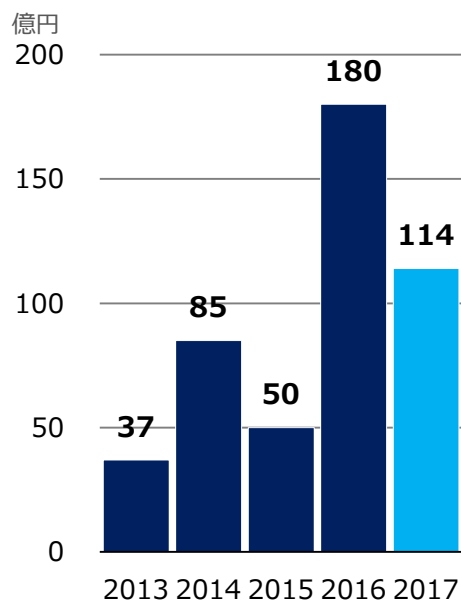
売上高

受注残高

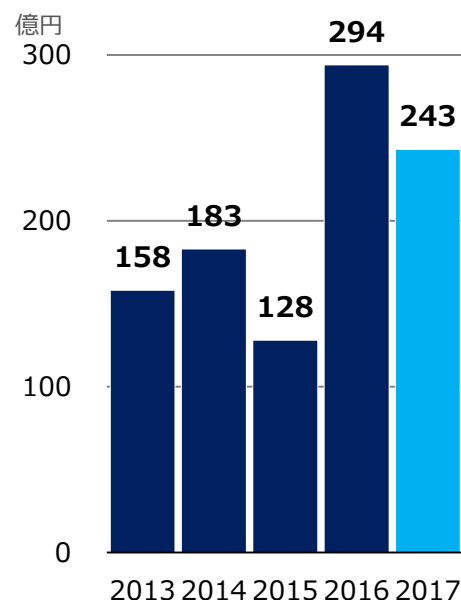


2017年12月期：業績の概況

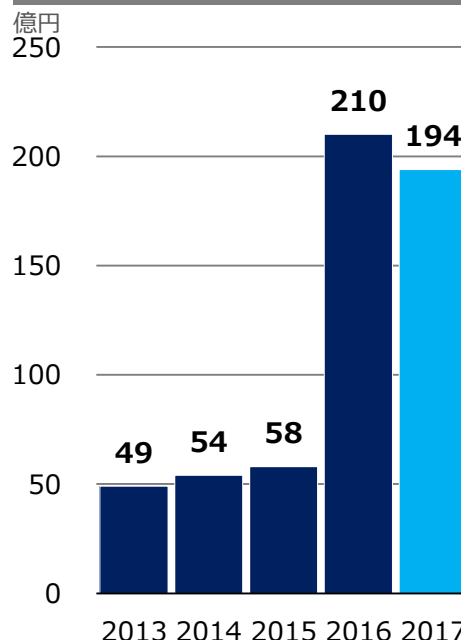
営業利益



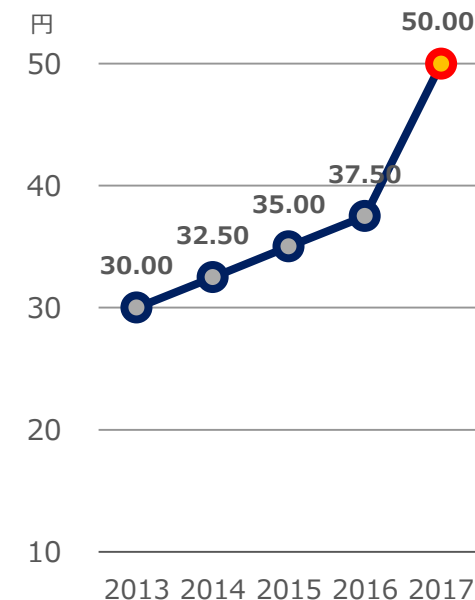
経常利益



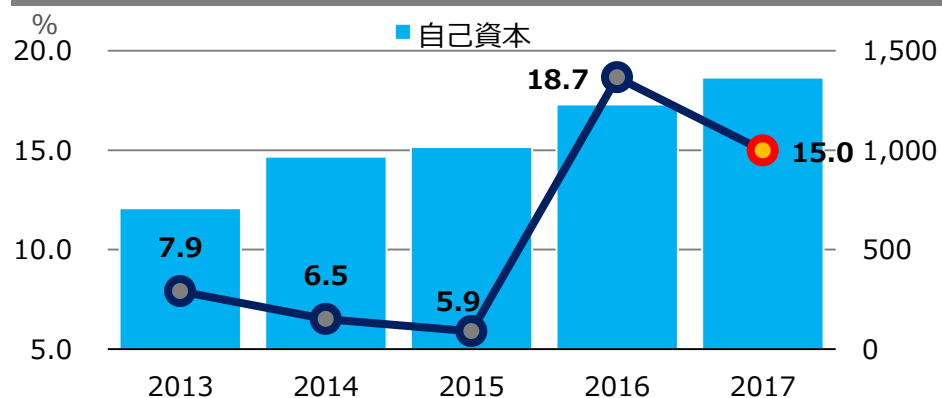
親会社株主に帰属する当期純利益



一株あたり配当額



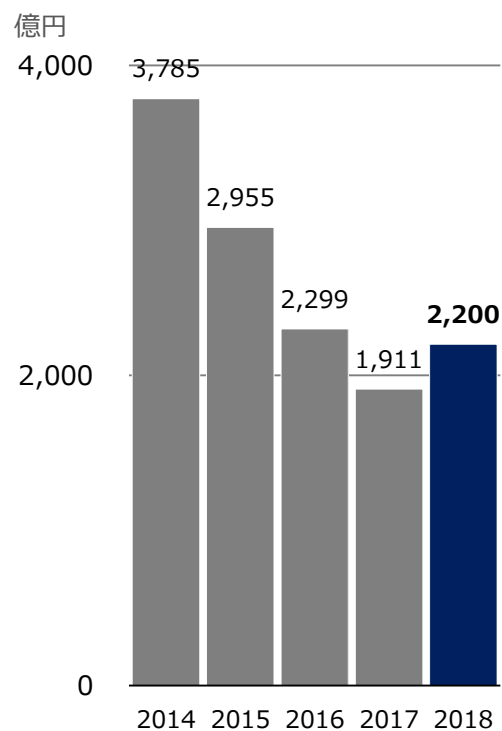
ROE



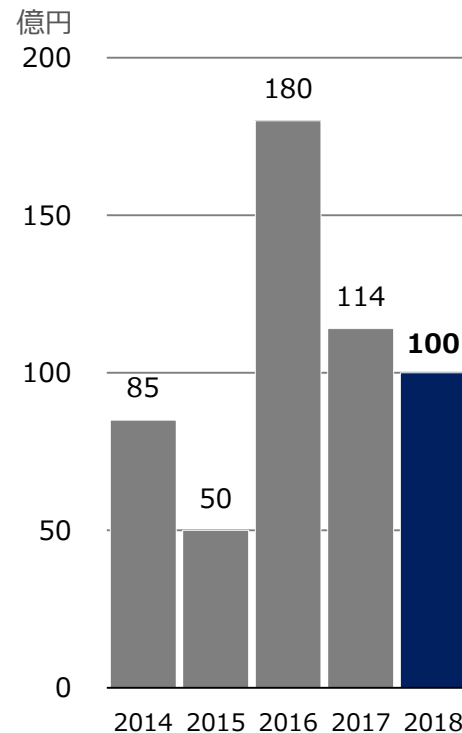
- 中期経営計画2017で目標とした親会社株主に帰属する当期純利益100百万米ドル、ROE10%を昨年に引続き達成
- 業績を反映し特別配当10円を実施。年間配当は特別配当とあわせて通期で1株当たり50円（本総会決議後）

2018年12月期：業績予想

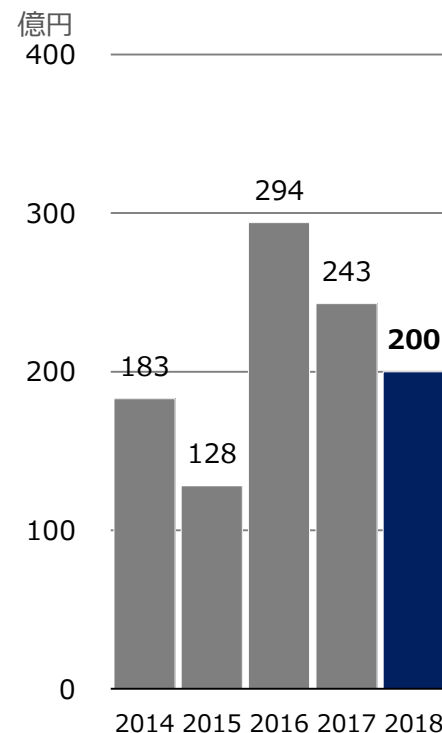
売上高



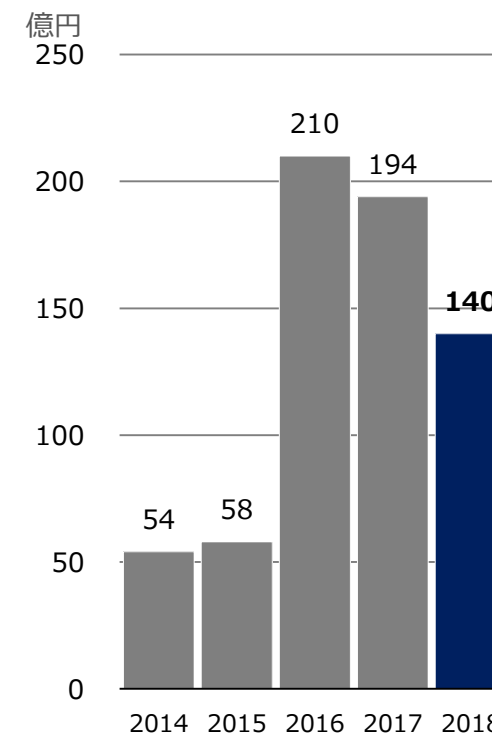
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



- 2018年度の決算時為替レートは110円／米ドルを想定
- 2018年上期にMV29がチャーター開始予定
- 2018年下期にFSO Ailsaを引渡し予定



FPSO Cidade de Campos dos Goytacazes MV29



FSO Ailsa

事業の概況

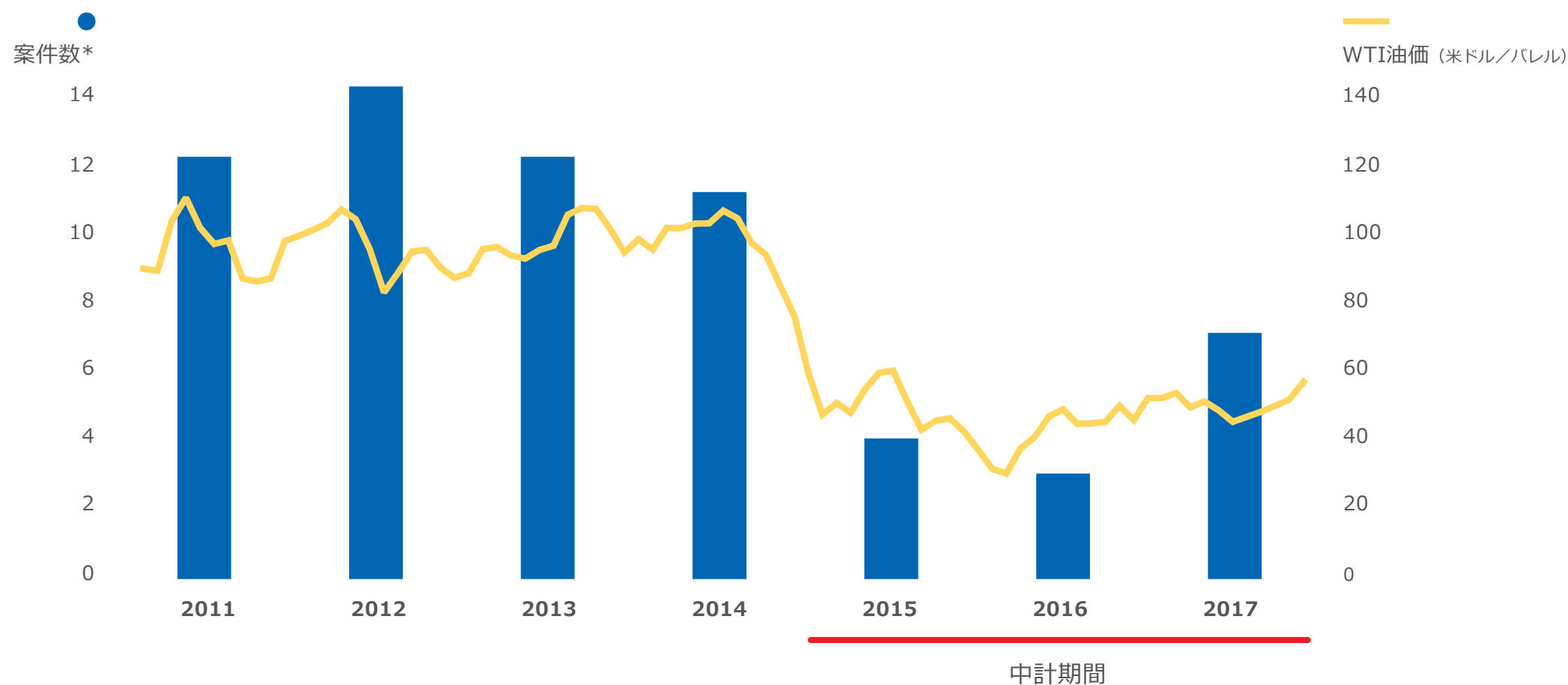
中期経営計画2017振り返り

中期経営計画2020の展望

A decorative horizontal bar with a blue-to-red gradient, positioned below the text.

中計2017振り返り～環境～

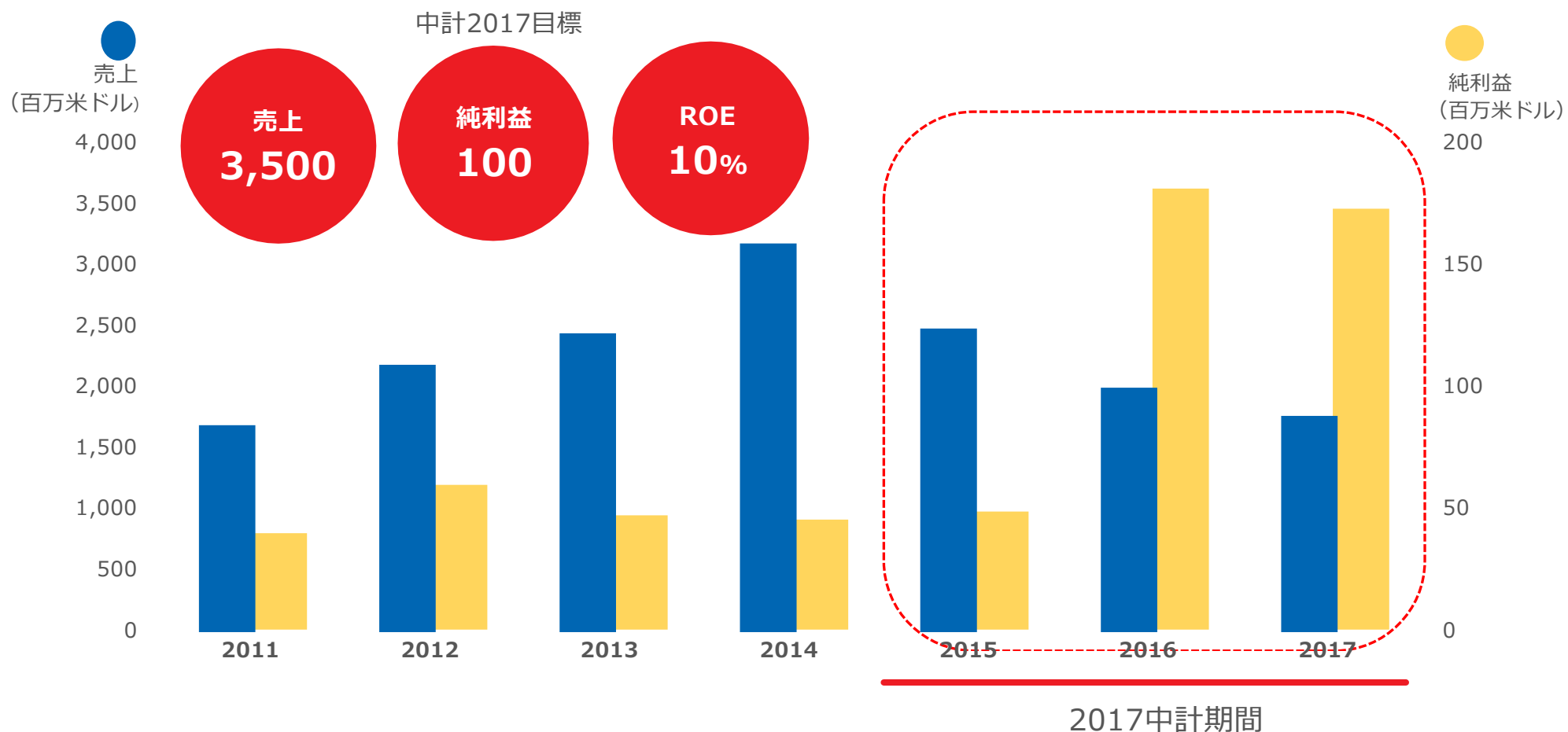
油価低迷とブラジルの政治混乱により、中計期間、案件数が減少した。



出所：案件数 EMA, "Floating Production Systems Outlook Report 2018 Q1 Executive Summary" * 浮体式生産設備、FSOとMOPUを除く
WTI油価 EIA

中計2017振り返り ～業績～

売上では伸び悩んだが、純利益は着実に積み上げた。



中計2017振り返り ～活動～

前期中計のアクションプランは着実な成果を残した。中計2020でも継承・進化させる。

Asset Integrityの強化

- リソースの積極投入によるアセットマネジメント機能の強化
- アセットマネジメントで得たノウハウをFEED/EPCI/O&M各ステージで活用。より長期的に安定した生産が可能な設備の設計・建造/O&Mサービスの提供を実現

競争力の更なる強化

- EPCIのコスト競争力強化/短納期化を実現
- O&Mのコストダウンを実現

研究開発の推進

- 海底鉱物資源開発技術の研究
- 洋上風力発電技術の研究・事業開発
- FSRWP®の事業開発

当社組織の効率化

- グループキャッシュマネジメントを強化し、グループ内の効率的な資金運用を実現

事業の概況

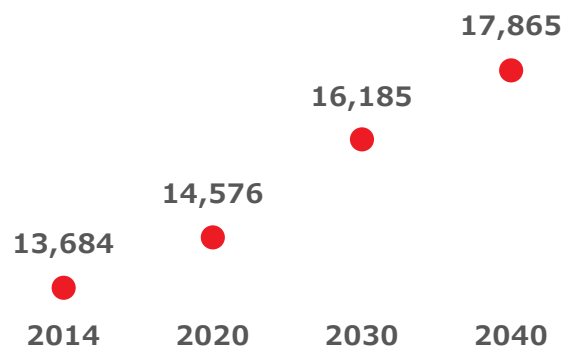
中期経営計画2017振り返り

中計2020の展望

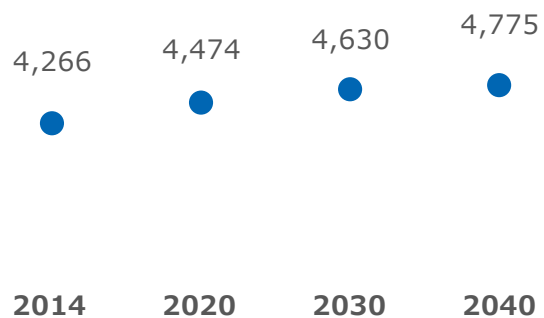


原油消費量は底堅く推移し、ガス消費量は大きく膨らむ。

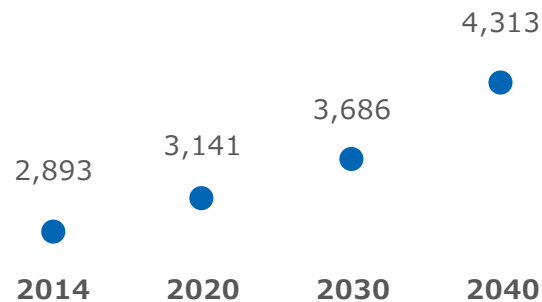
総エネルギー消費量 (mtoe/年)



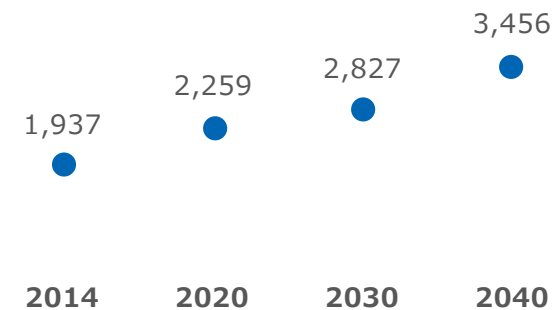
原油消費量 (mtoe/年)



ガス消費量 (mtoe/年)



再生可能エネルギー (mtoe/年)

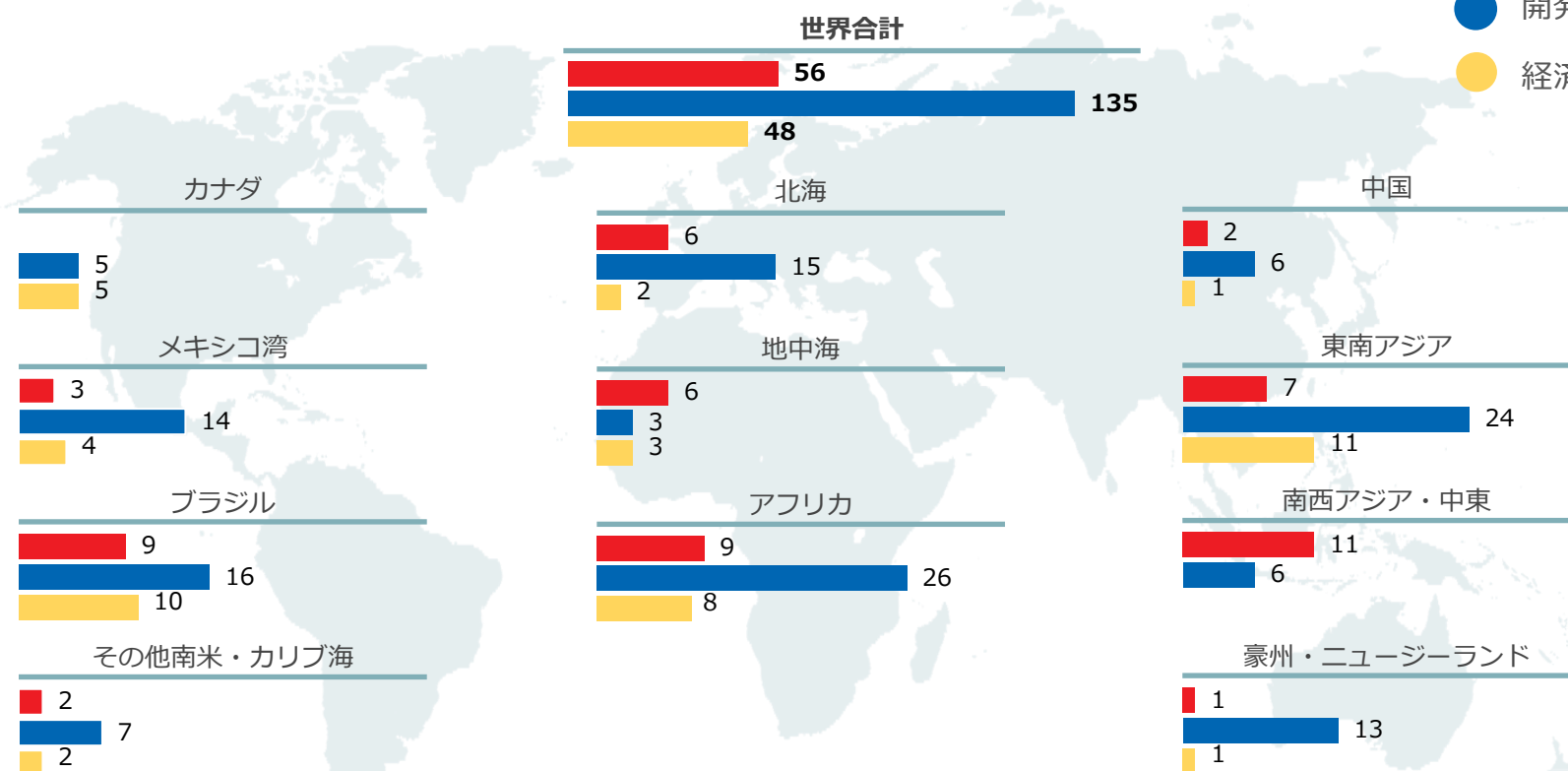


出所 : IEA, "World Energy Outlook 2016" mtoe : million tonnes of oil equivalent (石油換算百万トン)

案件が継続的に出てくる環境に戻った。

浮体式海洋石油・ガス生産設備の利用が予想されている案件数（2017年9月現在）

- 入札中・デザイン最終段階
- 開発計画段階
- 経済性評価段階



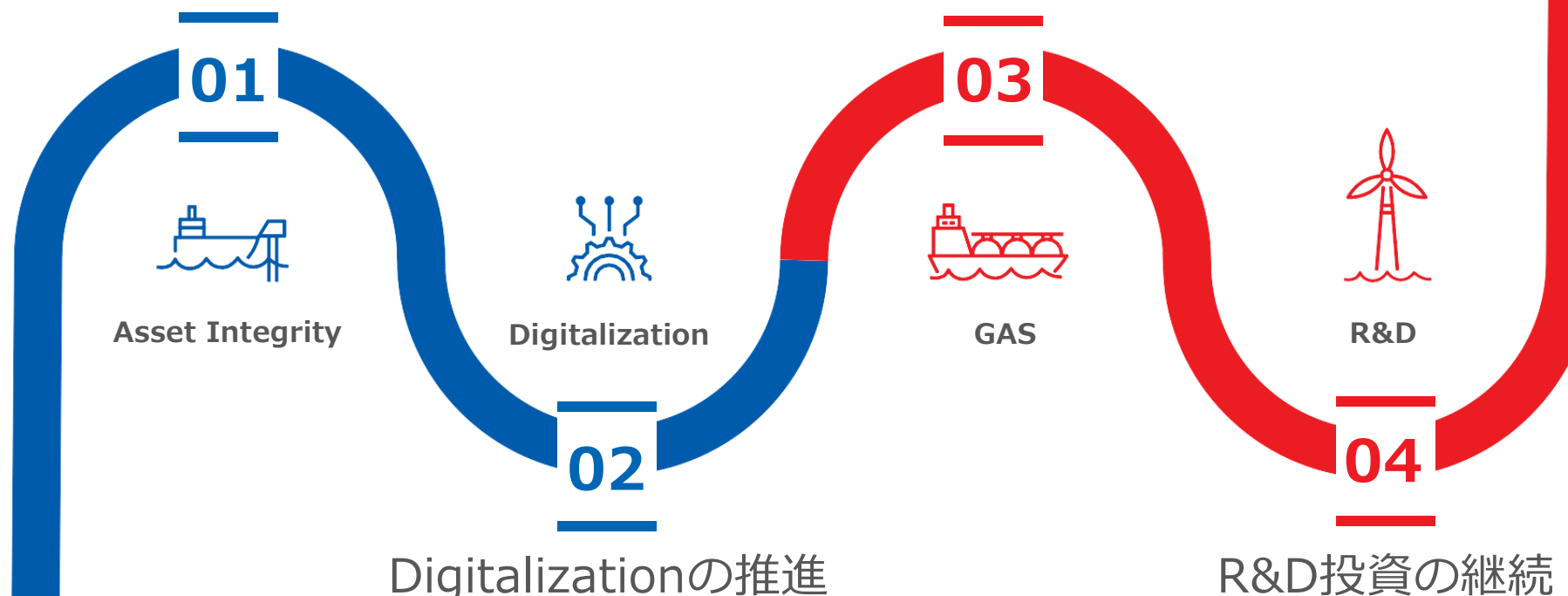
出所 : EMA, "2017 Q4 FPS Report" *Australia & New Zealand includes one project in bidding and final design stage in Pacific.

LIFECYCLE VALUEの最大化

将来に向けた新領域開発

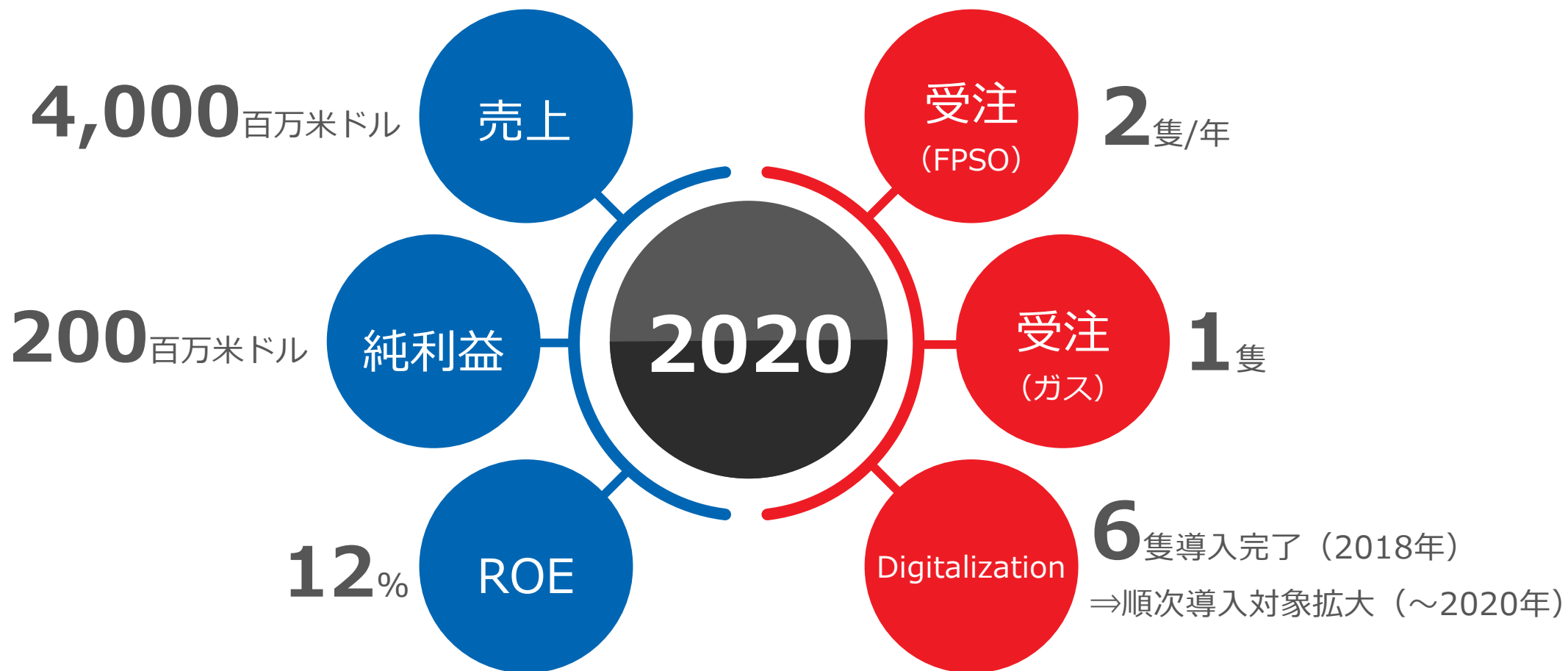
Asset Integrityの進化

ガスマーケットへの本格参入



LIFECYCLE VALUE :FPSOの設計～操業の全期間を通して、当社が社会、顧客、パートナー、当社株主等のステークホルダーに提供する価値

2020に向けた目標 ～LIFECYCLE VALUEの最大化～





MODEC

